

やまのめ

一関市立山目小学校 校報 No.12
2023. 7. 21 文責:校長 菊池



1学期終業式 校長の話

ぐんぐん成長 1学期

やっぱり大事! 「自分から」

1学期は、運動会や毎日の学習、6年生は修学旅行でも、たくさんのごんごん成長できました。皆さんが特にがんばったことを三つお話しします。

一つ目は「あいさつ」です。1学期のはじめは、声が小さい人もいました。でも今では、自分から明るくあいさつができる人が、どんどん増えています。あいさつ名人も増えてきました。中でも、2年A組の〇〇〇〇さんは、毎日「自分から」、**あ**かるく、**い**つでも、**さ**きに、**い**づけてあいさつができる、「あいさつスーパー名人」です。



【入学式から105日 ぐんぐん成長1年生】

二つ目は「学習」です。校長先生はできるだけ毎日、授業を見て回りました。お話をよく聞く姿や友達と学び合う姿をたくさん見ました。中でも、6年C組の〇〇〇〇さんは、授業でも行事でも、びっくりするほどお話をよく聞いていました。**目**だけでなく、**目**も**心**もしっかり相手に向けて「自分から」よく聞く「聞き方スーパー名人」です。

三つ目は「優しさ」です。困っている友達に「大丈夫?」と「自分から」声をかけたり、怪我をした友達を心配して付き添ったり、優しい山目の子がたくさんいました。中でも、6年生のお世話係の皆さんは、入学してきた1年生に道具のしまい方や安全な遊び方など、たくさんのお話を教えてくれました。ある時は、忘れ物で困っている1年生に気づき、どうしたらよいか教えてあげる優しい場面も見ました。

このように、あいさつでも学習でも、優しさでも、ぐんぐん成長する人は、「自分から」を大事にしていると、校長先生は思いました。

さて、明日から夏休みです。楽しい夏休みにするために、次の二つをがんばってください。やっぱり大事なのは、「自分から」です。

一つ目は、「自分から」命を守ることです。水の事故や交通事故にあわないため、「自分から」危険な場所には立ち入りません。道路では「自分から」止まり、「自分から」安全確認をしましょう。自分の命は自分で守るのです。

二つ目は、心に残る夏休みを「自分から」つくることです。どこにも出かけなかったから、楽しくなかったとかではなく、めあてを決めて「自分から」最後までやり通すと、心に残る夏休みをつくることができます。

では、8月23日の2学期始業式で、元気な皆さんと、また会えるのを楽しみにしています。

◆ 校長日記 ◆ 夏休み明け どんな顔

職業上、小学生時代から50回近くも、学校の夏休みを経験してきました。休み明けの暗い気持ちにも打ち勝てそうなものですが、今でもほとんど変わりません。それでも、久しぶりに子どもたちの笑顔や少し成長した姿を目にすると、やっぱりうれしくなります。子どもの成長を目の当たりにできることは、教師のこの上ない喜びです。



休み明け、子どもたちと話すと、いつも次のような傾向がありました。整った生活リズムと、大人のほめ言葉や励ましが、子どもをやる気にさせるのでしょうか。

夏休み楽しかった!
2学期も楽しみ!
次のめあてはこれだ!



- ◇同じ時刻に早寝早起き、食事
- ◇計画より前に実行、遅れたら早めに挽回
- ◇ゲームもするけど、決めたルールは守る
- ◇休み中、家の仕事やあいさつもほめられ、自信とやる気がアップ

夏休みに戻りたい…
計画なんて守れない…
朝がつらい…



- ◆動画やゲームで夜更かし
- ◆朝起きられず、計画通りできない
- ◆がんばろうと思っても、ついついゲーム親の目がないと、ゲームか動画ばかり
- ◆怒られてばかりで、やる気がダウン